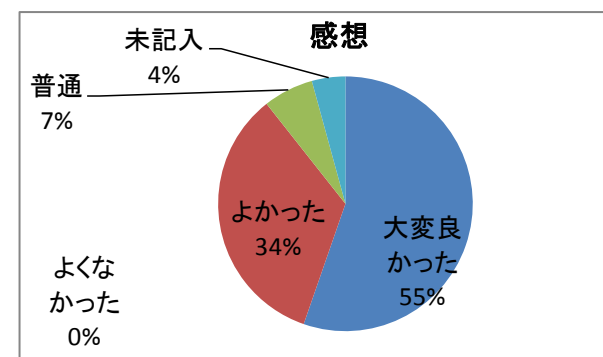
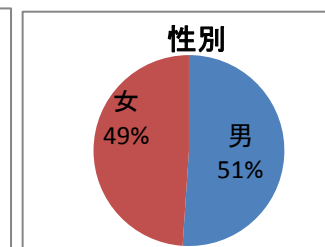
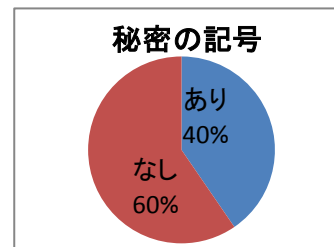


2013.7.23 出前講座アンケート(アリコ)

		がんとお金						集計数	47
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計	
秘密の記号	あり	1	2	7	7	2	0	19	
	なし	0	4	7	11	5	1	28	
	合計	1	6	14	18	7	1	47	
性別	男	0	4	7	10	2	1	24	
	女	1	2	7	8	5	0	23	
	合計	1	6	14	18	7	1	47	
講座の感想	大変良かった	0	6	9	7	4	0	26	
	よかった	1	0	5	7	2	1	16	
	普通	0	0	0	3	0	0	3	
	よくなかった	0	0	0	0	0	0	0	
	未記入	0	0	0	1	1	0	2	
	合計	1	6	14	18	7	1	47	

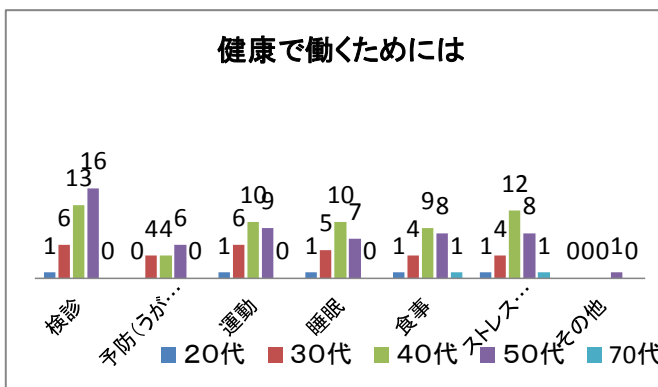
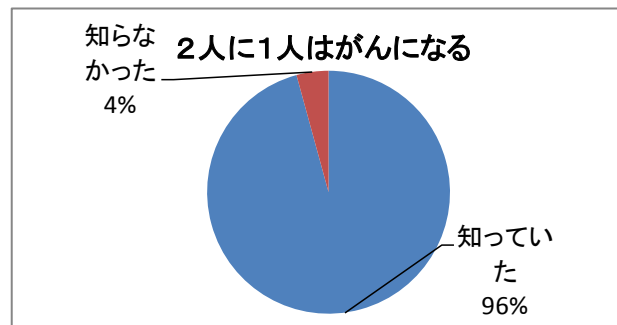
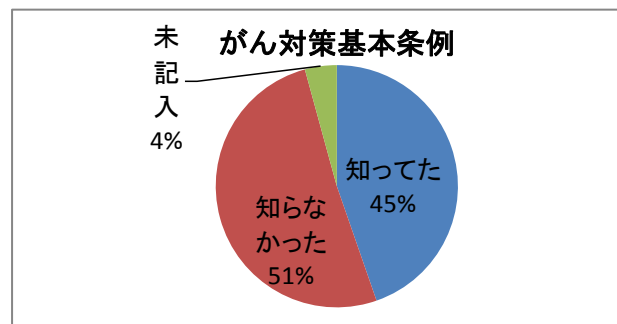


◎講座の感想の理由

20代	実際に治療にいくら使ったなどリアルな数字が聞けたりしてすごく勉強になりました。
30代	体験談が何よりも一番勉強になるし、ありがたいです
	実体験を元にお話しいただいたので、ご苦労されたところなどとても分かりやすく身にしみました。 実体験に基づいた説明がリアルで、実際にかかる費用や高額療養費適用外の事例などわかりやすかった
40代	家計ががん化系でなくなっている人もいます。他人事ではないと感じていますし、自身でも手厚く保険の方でもかけています。事例を詳しく聞けて良かった。
	自分も抗がん剤治療の経済的、肉体的つらさを知っているので、それらをコンパクトにまとめ上手に伝えていた。保険会社系のマネーセミナー等で実体験もないようなFPが良かったような話をしていると本当に怒りを覚えるが、今日は本音、実際の治療に即した話でよかったと思う。
	具体的ながんの体験について、お話を聞けたので。
	先日友人がしこりに気付き、研修後すぐだった為、触ったら同じ感触で、次の日病院をお伝えしました。今回のお話を聞くことができ、今後の心のケア、サポートなど少しでも支えてあげたいと思います。
	改めてがんに対する意識が高まりました。 体験者なので話が伝わってきました。

	<p>内容が良くて話が分かりやすかった。がん患者さんが講演されて説得力があった。</p> <p>ご自身の体験談と言えど、がんの話をするには大変な勇気と使命感をお持ちのことと拝察いたします。時間の制限がなければ、もっといろいろな情報をいただきたいと思いました。</p> <p>体験した人しかわからない事がよくわかりました。</p> <p>がんの大変さや生活の変化、がんにかかってからの治療費など参考になりました。人によって金額の違いがよくわかった。</p> <p>実の話でとても伝わりました。</p>
50代	<p>私は去年、国の難病指定患者になりました。それがわかるまでの検査費、交通費が大変だったのが痛いほどわかります。またこの病院でいいのか？という不安が多々ありました。実際なった方でないといけないつらさを聞く事が出来て、大変もっと保険のことをよく考えなければならぬと思いました。</p> <p>がんの治療内容の説明がわかりやすかった。がん経験者のお話なので、リアリティーがあり身近に感じ“治る病気”“治すための保険”というイメージでした。乳がん触診モデルも参考になりました。</p> <p>現実。REAL</p> <p>今後仕事に生かせそうだったので</p> <p>がんになって実際にかかった費用やその後の生活が変化したことがわかりました。</p> <p>がんの手術の経験者として、私も苦労しましたが、やはり早期発見の重要性を認識しました。</p> <p>高額療養費の支給がほとんど役に立たなかったこと</p> <p>ある程度のことは勉強していたので。</p> <p>実際にがんになられた話なので、金額(医療費など)心にひびいた。</p> <p>がんがわかって克服するまでの流れをわかりやすく話していただけたので。</p> <p>がんの体験談を聞くことができよかった。今後の対応に生かしていきたい。</p> <p>仕事でがんの方にも会いますが、体験談を聞かせていただきありがとうございます。自分の健康の上や仕事の上でも参考にさせていただきます</p> <p>実体験のお話なので、直に引き込まれました。</p> <p>がん保険の説明を10年間続けているが、山梨県の対応について説明があったこと。また現在は通院治療が増えて抗がん剤について経済的、肉体的負担の実体験が聞けたので、今後の活動に役立てたい</p>
60代	<p>山日新聞の木曜日にぶんくらで記事を書いていらっしゃる橘田俊哉さんの実際のお話の講演を聞くことができました。本人・家族の支えと不安を乗り越える勇気等もお聞きしたかったです。</p> <p>勇気をもってがん患者であることを前提に体験を話されたことで、自身を持って営業にプラスになりました。</p> <p>わかりやすい</p> <p>清水さんの体験談を交えながらのお話で分かりやすかった</p> <p>これからの仕事に役立てていきたい</p>
70代	<p>経験からのお話で役立つと思う</p>

		20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
がん対策条例	知ってた	1	1	9	6	3	1	21
	知らなかった	0	5	5	10	4	0	24
	未記入	0	0	0	2	0	0	2
	合計	1	6	14	18	7	1	47
2人に1人はがんになる	知っていた	1	6	12	18	7	1	45
	知らなかった	0	0	2	0	0	0	2
	合計	1	6	14	18	7	1	47
項目		20代	30代	40代	50代	60代	70代	
健康で働くためには？(複数回答)	検診	1	6	13	16	6	0	42
	予防(うがい・手洗いなど)	0	4	4	6	1	0	15
	運動	1	6	10	9	5	0	31
	睡眠	1	5	10	7	4	0	27
	食事	1	4	9	8	5	1	28
	ストレス発散	1	4	12	8	4	1	30
	その他	0	0	0	1	0	0	1



全てだと思います
 ストレス発散コメント 趣味
 ブリザーブドなど自分の好きなことを
 その他コメント 生活習慣を見直し

◎ 講座で一番印象に残った言葉

20代	がんになっても安心して暮らせる世の中に
30代	備え(保険)があつてよかった
	「がん患者のみなさんは保険の販売の方を頼りにします！！」改めて身が引き締まりました。
	やはり最後の「がんになっても安心して暮らせる世の中に」という言葉が印象的でした。
	高額療養費は意外と使えない
	保険を更新した際、古いタイプを残しておいてよかった。

40代	がんになっても安心して暮らせる世の中に
	保険を販売するにあたり、90日の待機期間の恐ろしさを再認識しました。
	がん治療は人によって違う点
	実際にどういう流れで治療になるか・・・など、実体験を拝聴できとつても良かったです。
	高額療養費、傷病手当が出ない中で、本当に生命保険だけが出てよかったと思います。
	検診で予防できる
50代	がんは生活習慣と対策(医療保険の加入)が大切
	支え合いの環境。人との関わり合いが主だと思いますが、予防や備えなど前もって心がけや物理的に安心のできる環境づくりの必要性も全体の中からつかむことができました
	生活が変わっていく。早期発見は大切なこと。健診を受けるべきだと思います。
	がんになっても安心して暮らせる世の中に
	がんに対する対策→備えと予防
	乳がんが多い
60代	患者となったとき、生活することと治療費。知らずに保険を切り替えた時 2人に1人がなるということは知っていましたが、考えると本当に真剣に揃えて訴求していかないといけないですね
	がんの予防、がんの検診、がんの保険の必要さ。高額療養費「8万円」の壁
	保険を扱うものとして、実際にがんにかかったお客様は私たちを頼りにしているということ
	がんになっても安心して暮らせる世の中に
	一口にがんと言っても個人差があるので、金額的にも治療期間的にも違いがあることが理解できただけでも良かった。
	抗がん剤のところで大変だと思いました。
	体験談なので治療費のことなど具体的だったのでよく理解できた。「保険切り替えのタイミングのデメリット」を説明してください。
	抗がん剤→1週間は起きられない→3週間たつとまた細胞にダメージを与える
がん予防＝生活習慣病の予防と一緒に	
60代	抗がん剤治療の現実で高額療養費を使えない
	高額療養費制度が使えるようで実は使えない場合が多いことを知りショックでした。
	抗がん剤を受けて経済的・肉体的に辛いという所で、治療をしながらの仕事等の変な大変さがよく伝わった。
	山梨県に住んでいて万が一がんになったら・・・その時「山梨がん診療連携拠点病院＝県立中央病院」があることを知りよかったです。山梨医大しかないかなと思っていました。
60代	いろいろの条例があることを知りました。特にがん対策推進条例
	がんになると多額の治療費がかかる
	抗がん剤のつらさ

がんにかかった後の生活の変化。経済的負担増。抗がん剤治療後がつかった。高額療養費は思っていたほど使えない
訪問時に一声かけてから行く

◎ 今後仕事や生活に生かせそうなことは？

30代	<p>がんにかかったときの生活の変化。身体や経済的な負担。 清水さんのご担当の保険代理店の方の判断は同業として改めて大切なことだと思いました。 貯蓄と保険の違い。保険の必要性など。販売する代理店として、お客様に寄り添うことなど、タイミングなどとても勉強になりました。 保険加入の見直しは安易に行わない</p>
40代	<p>食事など気を付けます がん＝働けない→退職のため、生活費がなくなる！！治療費(人によって異なる)の補てんは生命・医療保険の大事さを伝えていきたい がん系セミナーでFP等が行うマネー系が全く役に立たないことがわかりました。実体験の基づくセミナーを今後も続けて、もっと多くの方々にお伝えしていただければと思います。 治療はいつまで続くのかわからないので、貯蓄より保険の方が役に立ったということ。 保険の仕事の大切さについても、改めて身が引き締まる思いがします。一人でも多くの方を助けてあげられるようにこれからも心を込めてお伝えしてあげたいと思います。 保険の切り替えの時に、がん保険を2重にかけた・・・のは本当によかったなと思いました。 生活習慣の見直し、定期的のがん検診をする 意志の強い人がそうでない方にもお伝えしたり、思いを共有することが必要だと感じました。ささやかながら、自分にできそうなことをはじめたいと思います。 何があるかわからないので、備えは必要だと思いました。 大変参考になりました。保険の大切さをリアルに伝えていきたい がん保険の加入</p>
	<p>やはり生活と治療が成り立つか、それぞれのお客様の生活水準(年収は申込時にもお聞きするので)をいっぱい話し合っ、そのうえで選択していくことが必要だと思いました。また発病後の体調に合わせ、手術、治療に入る前にご家族がいると時にお話したいということが心の支えになると教えていただき大変勉強になりました。 がんについての知識を付けなかつたと思います。世の為、人の為になる仕事をしないと！と感じます。 保障の見直しにおいての、保証が切れないように対応していく。 山梨県で1年間に約5,600人の人ががんになっている。 がん保険(3大疾病保険)は必要だということ。実際にどんな治療や治療費がかかるかということ 保険の切り替えの時、特に気を付けて案内させていただくよう心がけたいと思った。 現実にご本人のお話を聞くことがなかつたので、仕事や生活の中でとつても勉強になりました。</p>

50代	<p>あつた人には必ずがんのことは伝えていきたい。保険請求は家族同席で説明していく。</p> <p>早期発見の大切さ→検診の大切さ。万が一のために保険に入っておく。貯蓄と保険の違い→治療によってかかる金額が違う。</p> <p>保険の見直し及びその引き受けに対して注意点の整理。がんに対する対策として備え予防の大切さ。</p> <p>保険の販売にとっても参考になりました。</p> <p>生活の為の資金の確保を生命保険(がん保険)でカバーできるようにしたい</p> <p>抗がん剤を受けて経済的肉体的に辛いという所で、治療をしながらの仕事等の大変さがよく伝わったという点と、高額療養費の適用範囲で、抗がん剤、放射線にはなかなかいかされない現実を元に保障の大切さ等をしっかり話していきたい。また貯蓄があればよいという人に対しても健康を損なった後の貯蓄の目減りは簡単に回復できない点もしっかり案内していく。</p>
60代	<p>がんになった場合に先づ、治療費が心配になると思います。保険の必要性は大事。2人に1人の確率ですから最低限の保障(保険)が大事だと思いました。ありがとうございました。</p> <p>私自身ががん患者で仕事に生かせております。説得力があります。</p> <p>がん一時金と通院日額増やしたいと思いました。</p> <p>治療費、治療内容及び経費の具体例がお聞きでき、お客様に一例として具体的にお客様にお話しすることができる。がん保険の重要性を再認できた。</p> <p>保険の内容90日。訪問するとき家族のいる時が良い。</p>
70代	<p>検診</p>